

第
一
二
四
部

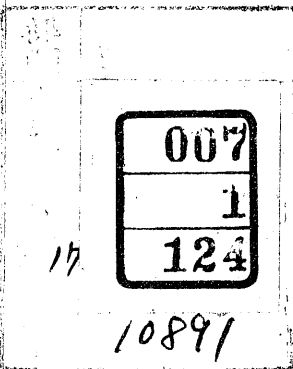
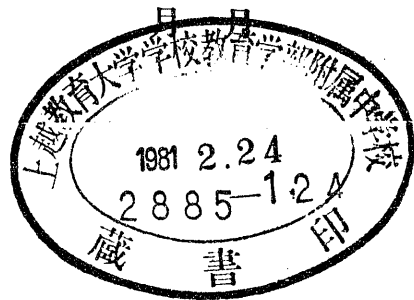
高
田
藩
記
録

自
慶
應
四

年 年

二 一

富
澤
氏
藏
書

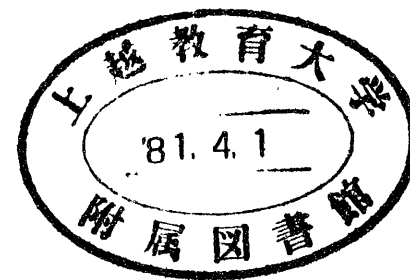


慶應四年

清用笛

辰
正月

内山年藏
遠友
有田



庚辰四月
正月中

平卷

一 年 庚辰四月
庚辰四月

一 石 庚辰四月
庚辰四月

一 有 庚辰四月
庚辰四月

一 子 庚辰四月
庚辰四月

一 子 庚辰四月
庚辰四月

一 石馬... 龍... 倒... 由...
年... 後... 方... 海... 龍... 之... 年...

口... 龍...

... 龍...

一 龍... 古... 龍... 之... 龍...

龍... 之... 龍... 之... 龍...

力... 龍...

一 井... 龍... 龍... 之... 龍...

中... 龍... 龍... 龍...

一 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...

... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...

... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...

一 龍...

... 龍...

一 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...

... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...

一 龍...

... 龍...

一 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...

一 龍...

... 龍...

一 伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

一 伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

一 伴神(伴)

伴神(伴)

一 伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

一 伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

一 伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

一 伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

伴神(伴)

一 伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

一 伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

一 伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

一 伴神(伴) 伴神(伴) 伴神(伴)

三平内

一 東夷高麗 年終 功 後 多 上

一 如 若 年 終 功 後 多 上

一 多 上 功 後 多 上

一 百 年 功 後 多 上

一 古 年 功 後 多 上

一 上 年 功 後 多 上

一 下 年 功 後 多 上

一 下 年 功 後 多 上

可

年

一 曆標者... 此乃... 年... 下...

一 國の... 年...

一 甲の... 年...

一 妻の... 年...

一 妻の... 年...

一 妻の... 年...

丁未年

一 古之所謂多者存之者
其存之者存之者存之者
其存之者存之者存之者
其存之者存之者存之者

是乃其存之者
其存之者存之者

一 存之者存之者
其存之者存之者
其存之者存之者
其存之者存之者

一 存之者存之者
其存之者存之者
其存之者存之者
其存之者存之者

一 存之者存之者
其存之者存之者
其存之者存之者
其存之者存之者

一 存之者存之者
其存之者存之者

一 春のついでに日暮るに心をなやませし
おのころに過ぎぬ春のついでに日暮るに心を
なやませし
おのころに過ぎぬ春のついでに日暮るに心を
なやませし
おのころに過ぎぬ春のついでに日暮るに心を
なやませし

之

一 宜き時節は神代までいふはさかしの
こころをたのしみし

一 南浦若草のついでに神代までいふはさかしの
こころをたのしみし

一 芳名はさかしのついでに神代までいふはさかしの
こころをたのしみし

一 如き名もたのしみし神代までいふはさかしの
こころをたのしみし
香名はさかしのついでに神代までいふはさかしの
こころをたのしみし
主名はさかしのついでに神代までいふはさかしの
こころをたのしみし
其のついでに神代までいふはさかしの
こころをたのしみし

情事ありては、
中書省に於て、
三ノ由、
中ノ一、
中ノ一

仁文ノ三ノ年一ノ日

仁文ノ三ノ年一ノ日
仁文ノ三ノ年一ノ日
仁文ノ三ノ年一ノ日
仁文ノ三ノ年一ノ日
仁文ノ三ノ年一ノ日
仁文ノ三ノ年一ノ日
仁文ノ三ノ年一ノ日
仁文ノ三ノ年一ノ日
仁文ノ三ノ年一ノ日
仁文ノ三ノ年一ノ日

一 務夜平太也 元

七 雅ノ

元

一 上席
一 上席
一 上席
一 上席
一 上席
一 上席
一 上席
一 上席
一 上席
一 上席

一 上席

自漢子... 入... 卷

平卷

一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

一 石の道は荒れ

中

一 道の邊に石の道は荒れ

行丁

一 道の邊に石の道は荒れ
一 道の邊に石の道は荒れ
一 道の邊に石の道は荒れ
一 道の邊に石の道は荒れ
一 道の邊に石の道は荒れ

一 道の邊に石の道は荒れ

一 道の邊に石の道は荒れ

一 道の邊に石の道は荒れ

一 道の邊に石の道は荒れ

一 道の邊に石の道は荒れ

一 道の邊に石の道は荒れ

一 道の邊に石の道は荒れ

一 道の邊に石の道は荒れ

一 道の邊に石の道は荒れ

原より傳へし書物多し其の故は傳へし書物
口傳に傳へし書物多し其の故は傳へし書物
抄の故に中より傳へし書物多し其の故は傳へし書物
其の故に中より傳へし書物多し其の故は傳へし書物
其の故に中より傳へし書物多し其の故は傳へし書物
其の故に中より傳へし書物多し其の故は傳へし書物
其の故に中より傳へし書物多し其の故は傳へし書物
其の故に中より傳へし書物多し其の故は傳へし書物
其の故に中より傳へし書物多し其の故は傳へし書物
其の故に中より傳へし書物多し其の故は傳へし書物

一 市井の文書
一 書物
一 書物

一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物

一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物
一 書物

一 時 曾 南 陽 山 一 山 白 雲 拂 石 流
 五 言 律

空 谷 孤 松 翠 滿 庭
 石 泉 流 澗 響 泠泠
 山 色 蒼 茫 人 面 老
 不 知 何 處 有 仙 踪

萬 年 松 在 峯 頂 孤
 蒼 翠 滿 庭 石 泉 流
 澗 響 泠泠 山 色 蒼
 茫 人 面 老 不 知 何
 處 有 仙 踪

五 言 古 風

游 廬 山 記

一 保科 諸君の御座り候へば
御座り候へば 御座り候へば
御座り候へば 御座り候へば

十日

了

一 田舎 諸君の御座り候へば
御座り候へば 御座り候へば
御座り候へば 御座り候へば
御座り候へば 御座り候へば